

ふるさと交友録

～伊藤 公平～ 1

「ふるさと」には、いろいろなひとがいる。郷土史に深く
かわり、調べ、記録してきた公平さんのまわりにも、いろ
いなひとがいる。この「交友録」では、月1回のペースで
公平さんの大切なひとびとを紹介していただくと思う。

(編集部)

オシユイコッ、ネイ山 郷野的考実
1997. 6. 27 8.



その人は息子が就職した時の最初の
上司。エンジニアであり、吹奏楽団の指揮
者でもある。翻訳者としても、翻訳臭が
ないのがいい、まさに一流。今は大学の講師
でもある。硬軟合わせもつ方である。

動植物・歴史・絵画・詩歌などなど、そ
の才能を生かしその花を咲かせている友
人たち。一家を成した方もおれば、いまだ
素人の方もいるが、それなりに皆生き生
きとしている。

その人は、亡き父の友人で、私は亡く
なるまで「父さん」と呼んでいた。画家で
あり、歌人であり、その話し振りは豪放
磊落、話し間違いも自ら「アハハ…」と笑
いとはした。

あつかましく「お母さん」と呼ばせて
もらっている方が二人いる。海内無双の著
版画家と言われた方の夫人と、開店以
来出入りさせていただいている書店の社
長さん。一寸した言葉のはしはしに背筋

をしゃんとさせてくれるものがある。「母
さん」と呼ぶ友人の母もいた。他人の私
を本気で叱ってくれる人だった。

仕事の上で調査を依頼してくれる人の
視点や考え方には、逆に教えられること
が多かった。多くの方には今も交誼をい
ただいている。

わが庭のアイスキヤンドルフエスタに参
加くださる方は、まさに老若男女、こと
に女房殿の友人の方々の賑やかさには継
続する勇気をたくさんいただいている。

心にとどめ、その人となりをきちんと
書き留めておきたい方々が私のまわりには
大勢いる。その多くはまさに師と呼び
「私淑」に値する方々である。ポチポチと、
その人々を語らせていただく。

伊藤公平(いとうこうへい)北見市在住、
郷土史研究者。私設図書館「麦の風文庫」
と「野草苑があでんきたみ」主宰。平成13
年〜20年、みんとに「ふるさとと四方山話」
「ふるさと・そぞろ歩る記」を連載。